

放課後子ども教室くるプレについて

1 放課後子ども教室くるプレの実施状況

(1) 登録児童数・平均参加児童数・活動拠点など

導入2年目となった令和5年度は7校で実施しています。各校のおおむね5～6割の児童が利用登録をしており、毎日の利用者は全校児童数の1割程度となっています。活動場所は、拠点教室のほか、全学年の授業終了後は校庭や体育館を使用しています。

	全校児童数	くるプレ登録児童数	<参考>学童保育入所者数	くるプレ登録率	R4くるプレ登録率	平均参加児童数(平日)	最大参加実績	活動拠点
二小	452	223	54	56.0%	47.9%	49.9	86	普通教室1室
五小	649	317	109	58.7%	-	56.0	107	普通教室1室
六小	270	157	51	71.7%	-	47.9	73	普通教室1室
十小	400	185	72	56.4%	-	37.8	118	普通教室1室
南砂小	313	138	58	54.1%	-	35.8	79	普通教室1室
松中小	478	225	70	55.1%	43.7%	73.8	99	普通教室2室
大山小	251	95	54	48.2%	37.7%	22.0	36	多目的室1室
合計	2,813	1,340	468	57.1%	44.2%	324		

■令和5年度のくるプレ集計は、令和5年12月末現在(令和4年度のくるプレ登録率は、年度末時点)

■全校児童は、令和5年5月1日現在

■登録率の母数は、全校児童数より学童保育所入所者数を除いたもの

(2) 子どもたちの様子



【校舎内】

ボードゲームやパズル、宿題など



【校庭】

ボール遊び、鬼ごっこ、遊具遊びなど

2 導入のスケジュール

放課後子ども教室くるプレの導入については、現行の放課後子ども教室運営委員会や学校関係者等と調整を行い、令和8年度までに下表の順で全小学校に導入します。

年度	導入校	学校名	事業者
令和4年度	3校	二小・大山小・松中小	(株)明日葉
令和5年度	4校	五小・六小・十小・南砂小	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)
令和6年度	4校	一小・三小・上砂川小・柏小	ライクキッズ(株)
令和7年度	4校	四小・八小・幸小・新生小	未定
令和8年度	4校	七小・九小・西砂小・若葉台小	

3 くるプレ導入に伴う工事予定

(1) 第一小学校（令和6年度導入予定）

給食調理室跡スペースの改修工事を行い、くるプレルーム（活動場所）として活用します。

(2) 西砂小学校（令和8年度導入予定）

小学校敷地内にある西砂学童保育所を、くるプレルームを併設する一体型施設として建て替えます。この学区は待機児童が多い状態が継続していることから、建替に合わせ、学童保育所の受け入れ人数の拡大を図ります。なお、両事業の施設が合築されることから、学童保育所とくるプレの運営は同一事業者へ委託する予定です。

(3) 第九小学校（令和8年度導入予定）

特別支援学級の1室を工事により2室に分け、特別支援学級2学級で使用することで、1教室をくるプレルームとして活用する予定です。

4 放課後子ども教室くるプレ運営上の課題

(1) 活動場所の安定的な確保

多くの小学校では余裕教室がなく、活動拠点の確保については学校に多大なご協力をいただいておりますが、次年度以降の学級数や教育課程等によっては、同場所の継続使用は困難であるとお聞きしている学校も複数あります。

くるプレの認知度が高まり、登録数・参加数ともに増加しており、安全・安心な運営のためのスペースの確保が課題となっています。

(2) 全校でのサービス水準の確保と質の向上

運営事業者は、条件付き一般競争入札で決定しており、複数の事業者が運営をしています。また、学校の地域特性や地域団体の関わり等の状況も異なるため、学校によって運営やサービス内容に差が生じないように、密に現場を把握しながら、実施水準の確保と質の向上に努める必要があります。